

複合機

ユーザーズガイド（機能追加のお知らせ）

もくじ

| | |
|-------------------------|----|
| はじめにお読みください | 2 |
| 各種機能に関する変更 | 6 |
| システム仕様の変更 | 7 |
| 設定/登録に関する変更 | 13 |
| 変更項目 | 14 |
| ユーザズガイドに関するその他の変更 | 16 |
| バージョンごとの変更点 | 26 |
| Ver.05.13 の変更点 | 27 |
| Ver.05.13 の変更点 | 28 |
| Ver.05.13 の変更点 | 29 |
| Ver.08.02 の変更点 | 30 |
| 第三者のソフトウェアについて | 32 |

はじめにお読みください

はじめにお読みください 2

はじめにお読みください

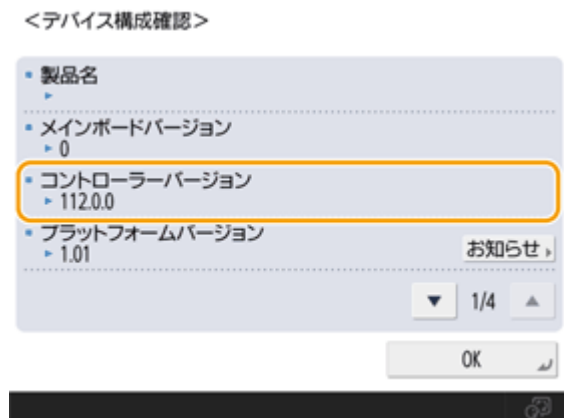
96HX-000

本マニュアルはユーザーズガイドとあわせてお読みください。本マニュアルは、追加機能や変更内容について説明しています。

■お使いのバージョンを確認する

お使いの機種によっては最新のコントローラーバージョンが適用されていない場合があります。以下の手順でお使いのバージョンをご確認のうえ、本マニュアルをお読みください。

- 1 [カウンター/機器情報] キーを押す
- 2 <機器情報/その他> ▶ <デバイス構成確認>を押す
- 3 <コントローラーバージョン>でお使いのバージョンを確認する



■本マニュアルの読みかた

本マニュアルで使われる画面やアイコンなどについて説明します。なお、ここで説明していないマークや画面などについては、「ユーザーズガイド」と同様です。







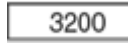
- お使いの機種やオプションによっては、対応していない機能などが記載されている場合がございますが、あらかじめご了承ください。

画面について

本マニュアルで使われている画面は、機種やオプションの有無、バージョンなどによって、お使いの複合機と異なる場合があります。

対応機種について

対応となる機種が限定される記載内容に対しては、以下のアイコンで示しています。


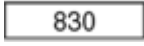


| | |
|--|---|
|  | すべてのカラー機 |
|  | すべてのモノクロ機 |
|  、  など | 各製品を示すアイコン 例)  : C3222F |



- 上記のアイコンが記されていない場合は、全機種が対応しています。

対応バージョンについて

ファームウェアのアップデートにより追加/変更となった記載内容に対する、対象機種と対応コントローラーバージョンは以下のとおりです。

| | |
|---|---------------------------|
|  | コントローラーバージョン Ver.05.13 以降 |
|  | コントローラーバージョン Ver.05.13 以降 |
|  | コントローラーバージョン Ver.05.13 以降 |
|  | コントローラーバージョン Ver.08.02 以降 |



対応バージョンに応じた記載内容を探す

一覧ページから探す

- バージョンごとの変更点を一覧にまとめたページから探すことができます。▶[バージョンごとの変更点\(P. 26\)](#)

検索して探す

- 「Ver.05.13」のようにキーワードにバージョンを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から探すことができます。



■ 本マニュアルの表示を設定する

本マニュアルの文字サイズを変更したり、本マニュアルを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ (<https://get.adobe.com/reader/>) からダウンロードしてください。

■ 商標について

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook は、Google LLC の商標です。

All other trademarks are the property of their respective owners.

その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各種機能に関する変更

| | |
|------------------|---|
| 各種機能に関する変更 | 6 |
| システム仕様の変更 | 7 |

各種機能に関する変更

96HX-002

本機の各種機能に関する変更内容について説明しています。

● **システム仕様の変更(P. 7)**

システム仕様の変更

96HX-004

- 送信機能の変更(P. 7)
- プリンター機能の変更(P. 7)
- 管理機能の変更(P. 9)
- サポート環境の変更(P. 9)
- ネットワーク環境の変更(P. 11)

■送信機能の変更

送信機能に対応するインターフェイスが以下のとおり変更となりました。

830

7500

プッシュスキャン機能

| | |
|----------|---|
| インターフェイス | 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |
|----------|---|

7600

プルスキャン機能

| | |
|----------|--|
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |
|----------|--|

3200

830

7500

プルスキャン機能

| | |
|----------|--|
| 対応 OS | Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 |
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |

■プリンター機能の変更

プリンター機能に対応する OS とインターフェイスが以下のとおり変更となりました。

3200

7500

LIPS LX プリンター機能

| | |
|-------|--|
| 対応 OS | <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 macOS (10.12 以降) |
|-------|--|

LIPS V プリンター機能

| | |
|-------|--|
| 対応 OS | Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 |
|-------|--|

830

LIPS LX プリンター機能

| | |
|----------|--|
| 対応 OS | <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 macOS (10.12 以降) |
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |

LIPS V プリンター機能

| | |
|----------|--|
| 対応 OS | Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 |
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |

PCL プリンター機能

| | |
|----------|--|
| 対応 OS | Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 |
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |

PS プリンター機能

| | |
|-------|--|
| 対応 OS | <p>ドライバー</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/Windows 10/Windows 11/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 macOS (10.12 以降) <p>PPD</p> |
|-------|--|

| | |
|----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/Windows 10/Windows 11 macOS (10.12 以降) |
| インターフェイス | USB2.0High-Speed、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T (IEEE 802.3 準拠)、Wi-Fi (IEEE 802.11b/g/n) |

■ 管理機能の変更

Active Directory を認証サーバーとして指定する場合、システム環境が以下のとおり変更となりました。

| | | | |
|------|-----|------|------|
| 3200 | 830 | 7600 | 7500 |
|------|-----|------|------|

Active Directory を認証サーバーとして指定する場合

| | |
|-------------|--|
| ソフトウェア (OS) | Windows Server 2012 ^{*1} /Windows Server 2012 R2 ^{*1} /Windows Server 2016 ^{*1} /Windows Server 2019 ^{*1} /Windows Server 2022 ^{*1} |
|-------------|--|

*1 KDC に関するポリシー (グループポリシー) で Kerberos Armoring を有効にすると、ユーザーが Active Directory 認証でログインすることができなくなります。Kerberos Armoring は無効にして使用してください。

■ サポート環境の変更

サポート環境に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

| |
|-----|
| 830 |
|-----|

リモート UI

| | |
|-----------------------------|---|
| リモート UI の使用環境 ^{*1} | Windows |
| | <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 11 Microsoft Edge Google Chrome |
| | Mac OS |
| | <ul style="list-style-type: none"> Safari 11 以降 Google Chrome |

*1 ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

| | | | |
|------|-----|------|------|
| 3200 | 830 | 7600 | 7500 |
|------|-----|------|------|

サーバーソフトウェア

| | |
|-------------------------|---|
| Eメール/Iファクス転送用サーバーソフトウェア | <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Sendmail 8.15.2 |
|-------------------------|---|

| | |
|---------------------------|---|
| E メール/I ファクス受信用サーバーソフトウェア | <ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Exchange Server 2016 ● Microsoft Exchange Server 2019 ● Qpopper 4.1.0 |
|---------------------------|---|

3200 830 7500

ファイルサーバー

| | |
|-------------------|---|
| ファイル送信可能なファイルサーバー | <p>FTP</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Server 2012 : Internet Information Services 8.0 ● Windows Server 2012 R2 : Internet Information Services 8.5 ● Windows 10/Windows 11/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 : Internet Information Services 10 ● Cent OS Stream 8 <p>Windows (SMB)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows 10 ● Windows 11 ● Windows Server 2012 ● Windows Server 2012 R2 ● Windows Server 2016 ● Windows Server 2019 ● Windows Server 2022 ● macOS Catalina ● macOS Big Sur ● macOS Monterey ● Cent OS Stream 8 <p>WebDAV</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Server 2012 : Internet Information Services 8.0 ● Windows Server 2012 R2 : Internet Information Services 8.5 ● Windows 10/Windows 11/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 : Internet Information Services 10 ● macOS Catalina ● macOS Big Sur ● macOS Monterey ● Cent OS Stream 8 |
|-------------------|---|

LDAP サーバー

| | |
|-----------------|--|
| 使用可能な LDAP サーバー | <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Server 2012 with Active Directory ● Windows Server 2012 R2 with Active Directory ● Windows Server 2016 with Active Directory ● Windows Server 2019 with Active Directory ● Windows Server 2022 with Active Directory |
|-----------------|--|

■ ネットワーク環境の変更

ネットワーク（有線）の対応するプロトコルが以下のとおり変更となりました。

830

7500

ネットワーク仕様（有線）

| | |
|---------|--|
| 対応プロトコル | TCP/IP <ul style="list-style-type: none">● フレームタイプ：Ethernet II● プリントアプリケーション：LPD/Raw/IPP/IPPS/BMLinkS^{*1}/FTP/WSD/Mopria/AirPrint/Windows 10 Mobile Print/Universal Print |
|---------|--|



*1 IPv6 には対応していません。

設定/登録に関する変更

| | |
|-------------------|----|
| 設定/登録に関する変更 | 13 |
| 変更項目 | 14 |

設定/登録に関する変更

96HX-005

＜設定/登録＞画面の項目に関する変更内容について説明しています。＜設定/登録＞画面は操作パネルの  / （設定/登録）を押すと表示されます。

●変更項目(P. 14)

変更項目

96HX-006

設定内容や補足説明などが変更となった設定項目は以下のとおりです。

| |
|-----|
| 830 |
|-----|

 (設定/登録) ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <メンテナンス> ▶ <低印字印刷モード>

- リモート UI からの設定が可能になりました。

| 変更前 | 変更後 |
|-----|-----|
| × | ○ |

ユーザーズガイドに関するその他の 変更

| | |
|--------------------------|----|
| ユーザーズガイドに関するその他の変更 | 16 |
|--------------------------|----|

ユーザーズガイドに関するその他の変更

96HX-007

基本操作▶宛先を登録する▶本製品のアドレス帳について

「各宛先表の違い」の表組にある、「管理者用宛先表」の「宛先表の公開範囲」が変更になりました。公開範囲は「全ユーザー」が対象となります。

3200

7600

本機について▶各部の名称とはたらき▶本体前面

3 USB ポート（本体右側面前）と **5** USB ポート（本体右側面）に重要事項が追加されました。

3 USB ポート（本体右側面前）

USB メモリーなどを接続します。

! 重要:

- 給電容量は 5 V 500 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

5 USB ポート（本体右側面）

- 外付けハードディスクなどを接続します。
- <インターフェイス選択>で<有線 LAN+有線 LAN >を選択した場合に、USB-LAN アダプターを接続します。

! 重要:

- 給電容量は 5 V 900 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

本機について▶機器仕様▶用紙について

用紙種類の<厚紙 7 >で 320.0×450.0mm（SRA3）の用紙を使用できるようになりました。手差しトレイからの給紙が可能です。

830

基本操作▶各部の名称とはたらき▶本体前面

9 USB ポート（本体右側面前）に重要事項が追加されました。

9 USB ポート（本体右側面）

USB メモリーなどを接続します。

! 重要:

- 給電容量は 5 V 500 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

基本操作▶各部の名称とはたらき▶本体背面

1 USB ポート（USB 機器用）に重要事項が追加されました。

1 USB ポート（USB 機器用）

外付けハードディスクなどを接続します。

! 重要:

- 給電容量は 5 V 500 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

基本操作 ▶ 音を設定する


「ファクス送受信時の音量を調整する」の冒頭の説明文が変更になりました。

ファクス送信中の通信音やファクス送受信時の結果音の音量を調整します。


基本操作 ▶ 音を設定する

「ファクス送受信時の音量を調整する」の手順 2 の補足説明が変更（項目 a と b の記載が変更）になりました。

a <アラーム音量>

ファクスの送受信（受信したファクスのプリント含まず）が正常に終了した音（ポー）や、中止やエラーで終了した音（ピーポーピーポー）の音量を調整します。音を鳴らさない場合は、 を数回押して一番左側に設定します。

b <通信音量>

次の音の音量を調整します。音を鳴らさない場合は、 を数回押して一番左側に設定します。

- ファクス送信中の音（ピーヒャラ）
- 受信したファクスのプリントが正常に終了した音（ポー）、エラーで終了した音（ピーポーピーポー）

基本操作 ▶ 音を設定する

「確認音や警告音を設定する」の冒頭の説明文が変更になりました。

操作パネルのキーやタッチパネルのボタンを押したときの確認音や、本機にトラブルが起きたときの警告音などを鳴らすかどうかを、個別に設定することができます。また、ファクスのメモリー送受信結果音を鳴らすかどうかを設定することができます。

ファクスする ▶ 受信した文書を自動転送する

「転送の設定をする」の手順 5 に説明が追加になりました。また、補足説明が変更になりました。

5 <転送先>を押して、転送先の宛先を設定する

- 登録済の宛先を指定する場合は、<アドレス帳> ▶ 宛先表指定プルダウンリストから宛先が格納されている宛先表を選択します。



- 転送先に<個人宛先表>とユーザーグループ宛先表の宛先を指定することはできません。

モバイル機器と連携する ▶ アプリを使って本機を活用する

Chrome OS の記載が追加になりました。

■ Chrome OS から印刷する

Chrome OS から印刷することができます。アプリのダウンロードやドライバーは必要ありません。本機で印刷するためには、Mopria® の設定を有効にする必要があります。

Mopria® の設定を確認する



リモート UI に管理者モードでログインする ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [Mopria 設定] ▶ [Mopria を使用する] にチェック ▶ [OK]

! 重要

- Mopria® の設定を有効にすると、< Network Link Scan を使用 > の設定値も < ON > になります。
- Mopria® のスキャンサービスを利用するには < Network Link Scan を使用 > が < ON > になっている必要があります。

印刷する

1 本機の電源が入っていて、Chromebook と接続されていることを確認してから印刷してください。

- 確認方法については「ユーザーズガイド」の「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。
- 印刷方法については、Chromebook のヘルプページ (<https://support.google.com/chromebook/answer/7225252>) をご覧ください。



- 本機と Chromebook を USB ケーブルで接続することもできます。操作方法については、Chromebook のヘルプページ (<https://support.google.com/chromebook/answer/7225252>) をご覧ください。

! 重要

- 国と地域によっては、Chrome OS からの印刷に対応していません。

設定/登録 ▶ 設定 / 登録一覧表 ▶ 宛先設定

< LDAP サーバーの登録 > の一括インポートに注釈 (*2 が追加) が追加になりました。

| 設定／登録項目 | 設定項目 | DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモート UI による設定 | 一括インポート | リモート UI でのエクスポート項目名 |
|------------------|-----------------------------|-------------|--------------|---------------|---------|---------------------|
| < LDAP サーバーの登録 > | <登録>、<詳細/編集>、<削除>、<リストプリント> | ○ | ○ | ○ | B*2 | 設定/登録の基本情報 |

設定/登録 ▶ 設定／登録一覧表 ▶ 宛先設定

表組下の注釈説明が追加（*2 が追加）になりました。

*2 <削除>、<リストプリント>：×

7500

基本操作 ▶ 各部の名称とはたらき ▶ 本体前面

3 USB ポート（本体右側面前）と **5** USB ポート（本体右側面奥）に重要事項が追加されました。

3 USB ポート（本体右側面前）

USB メモリーなどを接続します。



- 給電容量は 5 V 500 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

5 USB ポート（本体右側面奥）

外付けハードディスクなどを接続します。



- 給電容量は 5 V 500 mA です。容量を超えた機器を接続すると、本体が故障する原因になります。

基本操作 ▶ タッチパネルディスプレイをカスタマイズする ▶ よく使う設定や宛先を <ホーム> 画面に共有ボタン／マイボタンとして登録する ▶ 共有ボタン／マイボタンを登録する

冒頭の補足説明の「登録したボタンをインポート／エクスポートする」の記載が変更（箇条書きの 2 つ目の記載が変更）になりました。



登録したボタンをインポート／エクスポートする

- 登録したマイボタン／共有ボタンは、リモート UI を使ってインポート／エクスポートすることができます。

- インポート元の機種によっては、マイボタン／共有ボタンが一括インポートできない場合があります。詳細については、担当サービスにお問い合わせください。

基本操作 ▶ 宛先を登録する ▶ ワンタッチボタンに宛先を登録する

手順7 および便利な機能で操作する項目名が変更になりました。

7 <ワンタッチボタン名称> ▶ ワンタッチボタンに表示する名称を入力し、< OK > ▶ <次へ>を押す



便利な機能

あらかじめ LDAP サーバーが本機に登録されていれば、宛先を検索して、ワンタッチボタンに登録することができます。<宛先/転送の設定> ▶ <ワンタッチの登録> ▶ 登録するワンタッチボタンを選び、<登録/編集> ▶ <LDAP サーバーから登録>を押して、<条件で検索>から宛先を検索してください。宛先の内容を確認したあと、<ワンタッチボタン名称> ▶ 表示する名称を入力し、< OK >を押してください。

基本操作 ▶ 宛先を登録する ▶ ワンタッチボタンに宛先を登録する ▶ ワンタッチボタンにグループを登録する

手順7 で操作する項目名が変更になりました。

7 <ワンタッチボタン名称> ▶ ワンタッチボタンに表示する名称を入力し、< OK > ▶ <次へ>を押す

コピーする ▶ コピーの基本操作

手順4の「画質を調整する」 ▶ 「背景の濃度を調整する」の手順3の補足説明が追加（簡条書きの2つ目と3つ目が追加）になりました。

3 濃度を調整し、< OK >を押す

- <->を押すと背景全体の濃度が薄くなります。<+>を押すと背景全体の濃度が濃くなります。



MEMO

- 原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受ける場合があります。
- 領収書や送り状の控えなどの青色の文字をきれいにスキャンしたい場合には<+>を押します。
- 新聞のような原稿や下地に色の付いた原稿の下地を飛ばしてスキャンしたい場合には<->を押します。

ファクスする ▶ 送受信状況や履歴を確認する

「正しく送受信されたか確認する」の手順3の補足説明が変更（簡条書きの2つ目の記載が変更）になりました。

3 正しく送受信されたか確認する

- 問題なく送受信された文書には<結果>欄に<OK>と表示されます。<NG>と表示されている場合は、送受信を中止したか、エラーが発生したことを示しています。
- 文書を選んで<詳細情報>を押すと、終了コードを確認できます。終了コードを元にエラーの原因や処置方法を確認できます。
- <通信管理レポート>または<ファクス通信管理レポート>を押すと、表示されている送受信履歴が一覧プリントできます。

ファクスする ▶ 受信した文書を自動転送する

「転送の設定をする」の手順 5 に説明が追加になりました。また、補足説明が変更になりました。

5 <転送先>を押して、転送先の宛先を設定する

- 登録済の宛先を指定する場合は、<アドレス帳> ▶ 宛先表指定プルダウンリストから宛先が格納されている宛先表を選択します。



- 転送先に<個人宛先表>とユーザーグループ宛先表の宛先を指定することはできません。

スキャンする ▶ スキャンの基本操作 ▶ スキャンの状況や履歴を確認する

「正しく送信／保存されたか確認する」の手順 3 の補足説明が変更（箇条書きの 2 つ目の記載が変更）になりました。

3 正しく送信／保存されたか確認する

- 問題なく送信／保存された文書には<結果>欄に<OK>と表示されます。<NG>と表示されている場合は、送信／保存を中止したか、エラーが発生したことを示しています。
- 文書を選んで<詳細情報>を押すと、終了コードを確認できます。終了コードを元にエラーの原因や処置方法を確認できます。
- <通信管理レポート>を押すと、表示されている送信／保存履歴を一覧プリントできます。

モバイル機器と連携する ▶ アプリを使って本機を活用する

Chrome OS の記載が追加になりました。

■ Chrome OS から印刷する

Chrome OS から印刷することができます。アプリのダウンロードやドライバーは必要ありません。本機で印刷するためには、Mopria®の設定を有効にする必要があります。

Mopria® の設定を確認する



リモート UI に管理者モードでログインする ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [Mopria 設定] ▶ [Mopria を使用する] にチェック ▶ [OK]



ご注意

- Mopria® の設定を有効にすると、< Network Link Scan を使用 > の設定値も < ON > になります。
- Mopria® のスキャンサービスを利用するには < Network Link Scan を使用 > が < ON > になっている必要があります。

印刷する

1 本機の電源が入っていて、Chromebook と接続されていることを確認してから印刷してください。

- 確認方法については「ユーザーズガイド」の「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。
- 印刷方法については、Chromebook のヘルプページ (<https://support.google.com/chromebook/answer/7225252>) をご覧ください。



MEMO

- 本機と Chromebook を USB ケーブルで接続することもできます。操作方法については、Chromebook のヘルプページ (<https://support.google.com/chromebook/answer/7225252>) をご覧ください。



ご注意

- 国と地域によっては、Chrome OS からの印刷に対応していません。

モバイル機器と連携する ▶ Google Cloud Print を使う

Google Cloud Print のサポートが終了したため、Google Cloud Print を使用した印刷はできません。

本機を管理する ▶ ユーザーを管理する ▶ 個人認証管理の便利な機能を活用する ▶ 部門別 ID 管理を行う

冒頭の説明文が変更になりました。

ユーザーを所属部署などのグループにまとめて、部門 ID の単位で管理します。まず管理対象とする部門 ID をすべて作成し、それぞれのユーザーを所属させてください。ユーザーを部門 ID に所属させたら、部門別 ID 管理を有効にしま

す。パソコンからの印刷やリモートスキャンに対しても同じように管理を行うときは、別途必要な設定を行ってください。これらの設定には Administrator の権限が必要です。

設定/登録 ▶ 設定 / 登録一覧表 ▶ ファンクション設定 ▶ プリンター ▶ 仕様設定

<細線補正>の初期値が変更（初期値が<する>に変更）になりました。

| 設定 / 登録項目 | 設定項目 | DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモート UI による設定 | 一括インポート | リモート UI でのエクスポート項目名 |
|-----------|------------|-------------|--------------|---------------|---------|---------------------|
| <細線補正> | <する>、<しない> | ○ | ○ | ○ | C | プリンター設定の仕様設定 |

設定/登録 ▶ 設定 / 登録一覧表 ▶ 宛先設定

<LDAP サーバーの登録>の一括インポートに注釈（*2 が追加）が追加になりました。

| 設定 / 登録項目 | 設定項目 | DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモート UI による設定 | 一括インポート | リモート UI でのエクスポート項目名 |
|----------------|-----------------------------|-------------|--------------|---------------|---------|---------------------|
| <LDAP サーバーの登録> | <登録>、<詳細/編集>、<削除>、<リストプリント> | ○ | ○ | ○ | B*2 | 設定/登録の基本情報 |

設定/登録 ▶ 設定 / 登録一覧表 ▶ 宛先設定

表組下の注釈説明が変更（*2 の説明が変更）になりました。

*2 <削除>、<リストプリント>：×

メンテナンス ▶ レポートやリストをプリントする

「使用履歴からリストをプリントする」 ▶ 「保存スペース保存履歴のリストプリント」の補足説明が変更になりました。



- プロトコルとして印字される保存先の種別は 3 つあり、次の条件でプリントされます。
 - MemoryMedia：「スキャンして保存」から USB メモリーなどのリムーバブルメディアに保存した場合
 - Network：「スキャンして保存」から Windows サーバーに保存した場合

困ったときは ▶ ファクスのトラブル

「ファクスが受信できない」の対処方法が変更（2 つ目の対処方法が変更）になりました。

→ 「#」で始まる番号を確認して対処方法を調べてください

- ファクスの送受信に失敗すると、タッチパネルディスプレイや通信管理レポートに「#」で始まる番号（終了コード）が表示されます。終了コードに応じて、必要な対処方法を調べることができます。

困ったときは▶メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される

タイトルと説明文が変更（「終了コード」に記載が変更）になりました。

メッセージや#で始まる番号（終了コード）が表示される

本機の画面やリモート UI にメッセージが表示されたり、ジョブ履歴の詳細情報画面や通信管理レポートに、「#」で始まる番号（終了コード）が表示されたときは、次の参照先から対処方法を確認してください。

困ったときは▶メッセージや#で始まる番号（エラーコード）が表示される▶エラーコードごとの対処方法

タイトル、冒頭の説明文およびの冒頭の補足説明が変更（「終了コード」に記載が変更）になりました。

終了コードごとの対処方法

印刷や読み込みが正常に終了しなかったり、ファクスの送受信に失敗したりすると、ジョブ履歴の詳細情報画面や通信管理レポートに、「#」で始まる番号（終了コード）が表示されます。エラーコードに応じて、必要な処理を行ってください。



- お使いの製品によっては、表示されない終了コードがあります。

付録▶システム仕様▶ファクス機能

記録紙に使用できる用紙サイズが変更になりました。

| | |
|--------|---|
| 記録紙サイズ | A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、11" × 17"、LGL、LTR、LTRR、STMTR |
|--------|---|

バージョンごとの変更点

| | |
|----------------------|----|
| バージョンごとの変更点 | 26 |
| Ver.05.13 の変更点 | 27 |
| Ver.05.13 の変更点 | 28 |
| Ver.05.13 の変更点 | 29 |
| Ver.08.02 の変更点 | 30 |

バージョンごとの変更点

96HX-008

バージョンごとの変更点を一覧にまとめて説明しています。

3200

▶Ver.05.13 の変更点(P. 27)

830

▶Ver.05.13 の変更点(P. 28)

7600

▶Ver.05.13 の変更点(P. 29)

7500

▶Ver.08.02 の変更点(P. 30)

Ver.05.13 の変更点

96HX-009

コントローラーバージョン Ver.05.13 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

▶各種機能に関する変更点(P. 27)

各種機能に関する変更点

- 各種仕様（送信機能／プリンター機能／管理機能／サポート環境／ネットワーク環境）の変更

▶システム仕様の変更(P. 7)

Ver.05.13 の変更点

96HX-00A

コントローラーバージョン Ver.05.13 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

- ▶各種機能に関する変更点(P. 28)
- ▶設定/登録に関する変更点(P. 28)

各種機能に関する変更点

- 各種仕様（送信機能／プリンター機能／管理機能／サポート環境／ネットワーク環境）の変更
 - ▶システム仕様の変更(P. 7)

設定/登録に関する変更点

- <低印字印刷モード>のリモート UI による設定を変更
 - ▶変更項目(P. 14)

Ver.05.13 の変更点

96HX-00C

コントローラーバージョン Ver.05.13 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

▶各種機能に関する変更点(P. 29)

各種機能に関する変更点

- 各種仕様（送信機能／サポート環境）の変更
 - ▶システム仕様の変更(P. 7)

Ver.08.02 の変更点

96HX-00E

コントローラーバージョン Ver.08.02 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

▶各種機能に関する変更点(P. 30)

各種機能に関する変更点

- 各種仕様（送信機能／プリンター機能／管理機能／サポート環境／ネットワーク環境）の変更

▶システム仕様の変更(P. 7)

第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアについて 32

第三者のソフトウェアについて

96HX-00H

各バージョンの第三者のソフトウェアに関する情報は、本マニュアルの HTML 版をご確認ください。HTML 版マニュアルはオンラインマニュアルサイト (<https://oip.manual.canon/>) からご覧になることができます。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.